

平成24年3月期第2四半期決算発表 補足資料

□ はH23/5公表値

□ はH23/5公表値

	23年3月期 第2四半期累計		24年3月期 第2四半期累計		前年 同期比	23年3月期 通期		24年3月期 通期		前期比
	実績	構成比	実績	構成比		実績	構成比	見通し	構成比	
売上高合計 <海外売上高合計>	1,200	100%	1,150 1,223	100%	2%	2,394	100%	2,600 2,450	100%	2%
電力関連事業	296	25%	250 274	22%	-7%	539	22%	800 550	22%	2%
営業利益(%)	△43	-	△40 △49	-	-	△81	-	△30 △120	-	-
セラミックス事業	594	50%	600 634	52%	7%	1,243	52%	1,200 1,300	53%	5%
営業利益(%)	154	(26%)	115 163	(26%)	6%	311	(25%)	250 300	(23%)	-3%
エレクトロニクス事業	312	26%	300 316	26%	1%	617	26%	600 600	24%	-3%
営業利益(%)	53	(17%)	35 39	(12%)	-26%	90	(15%)	80 60	(10%)	-33%
セグメント間売上消去	△2		△1			△5		-		

	売上高比		売上高比			売上高比		売上高比		
営業利益(%)	165	14%	110 154	13%	-6%	321	13%	300 240	10%	-25%
経常利益(%)	143	12%	100 144	12%	0%	327	14%	320 260	11%	-20%
当期純利益(%)	109	9%	70 107	9%	-3%	244	10%	230 -	-	-
1株利益 配当性向	33.5円 29.9%		32.6円 30.6%			74.8円 26.7%		- -		

設備投資	124	10%	130	11%	4%	253	11%	330	13%	30%
減価償却費	91	8%	90	7%	-1%	190	8%	200	8%	5%
研究開発費	51	4%	53	4%	3%	114	5%	120	5%	5%

為替レート(円/\$)                    91                    82                    88                    79  
 為替レート(円/ER)                    121                    115                    116                    111

(会計方針の変更)  
 一部在外子会社における棚卸資産の評価方法の見直しを行った結果、遡及修正され、前会計年度の通期及び第2四半期累計期間の営業利益、経常利益、当期純利益が変更されております。

## 平成24年3月期 第2四半期累計期間 連結業績の要点

### ① 概況 前年同期比増収減益

電力関連事業はがいしで国内及び中国市場の需要が低迷したほかNAS電池の需要も低調。セラミックス事業は自動車関連製品で震災影響によるマイナス影響があった一方で、新興国や欧米の需要が堅調。エレクトロニクス事業は半導体市況の悪化や震災影響による需要減により低調。

### ② 事業別業績概況

**電力関連** : 前年同期比 22 億円の減収(為替影響△7 億円)。がいしは震災影響により国内需要が減少した他、中国市場での需要低迷が継続し減収。NAS電池も予定通りではあるものの大口案件の出荷はなく減収。利益は売上高の減少や円高影響等もあり、前年同期に引き続いて営業赤字(為替影響△2 億円)。

**セラミックス** : 前年同期比 40 億円の増収(為替影響△28 億円)。自動車関連製品は震災影響によるマイナス影響があったものの、日系自動車メーカーの早期生産回復、新興国での堅調な需要、米国でのトラック販売の回復などから増収。産業プロセス関連は震災影響による前年からの案件完工時期のずれ込み等により増収。利益は売上高の増加により円高影響を吸収して9億円の増益(為替影響△4 億円)。

**エレクトロニクス** : 前年同期比 4 億円の増収(為替影響△13 億円)。ベリウム銅展伸材は市況の回復により増収。半導体製造装置用セラミックス製品は半導体市況が悪化するも米国での事業買収による寄与があり増収。インクジェットプリンター用機能部品は震災影響等による需要の減少により減収。双信電機は情報通信インフラ向けの需要減少により減収。利益は品種構成の変化による利益率の低下や円高影響等により14億円の減益(為替影響△8 億円)。

③ 為替影響 連結: 売上△48 億円、営業利益△14 億円(前期 91 円→当期 82 円/\$、121 円→115 円/ER)

## 平成24年3月期 通期 連結業績見通しの要点

### ① 概況 前期比増収も為替円高、震災影響、NAS電池の火災事故影響等により減益の見通し。

電力関連事業は、がいしが低調なほか、NAS電池も火災事故による大口案件等の遅れにより低迷。セラミックス事業は自動車関連製品の需要が堅調で、値引きや円高影響を吸収して増収の見通し。エレクトロニクス事業は震災影響による需要の減少の他、半導体市況の落ち込みや円高影響により減収の見通し。営業利益は電力関連事業の赤字やエレクトロニクス事業の落ち込みにより減益。当期純利益はNAS電池の火災事故対応や安全対応に見積り困難な費用が発生する可能性もあるため未定。

### ② 事業別業績見通し

**電力関連** : 前期比増収(為替影響△14 億円)。がいしは震災影響による国内需要の減少に加えて、中国での大口案件の遅れや競合激化による売価下落の影響が継続し減収の見通し。NASは返品を受けた前期比では増収も、火災事故の影響により大口案件等が延期となり低調に推移する見通し。利益は売上高の減少、操業度の低下、円高影響等により前期比で営業赤字が拡大する見通し。

**セラミックス** : 前期比増収(為替影響△51 億円)。自動車関連製品は乗用車販売が欧米や新興国で堅調なことに加えて、米国でのトラック販売台数も回復しており、円高影響や価格下落等を吸収して増収の見通し。産業プロセス関連はリチウム電池向け焼成炉等の需要が伸張し増収の見通し。利益は自動車関連製品の売上高増加があるものの、新拠点立上げ費用や円高影響等により前期比で減益の見通し。

**エレクトロニクス** : 前期比減収(為替影響△23 億円)。ベリウム銅展伸材は前期並みも円高や銅価格の下落、中国向け家電需要の減少により弱含みの見通し。半導体製造装置用セラミックス製品は事業買収による増収がある一方で、半導体市況の悪化や円高影響により前期並みとなる見通し。インクジェットプリンター用機能部品は震災影響等により減収の見通し。双信電機は前期並みも中国向け鉄道需要の遅延や半導体市況の悪化により弱含みの見通し。利益は品種構成の変化による利益率の低下や円高影響等により減益となる見通し。

③ 為替影響 連結: 売上△88 億円、営業利益△25 億円(前期 88 円→当期 79 円/\$、116 円→111 円/ER)

④ 配当見込み 中間 10 円、期末 10 円の年間 20 円を維持する予定。